

100 周年のキャッチフレーズについて

1. 100 周年のキャッチフレーズ

「いちばんだいすき。一宮」

2. ボディコピー

一宮が、好きだ。

ちょっと都会でちゃんと田舎なこの街が、好きだ。

名古屋に近くて岐阜にも近いこの場所が、好きだ。

坂道のないまっすぐ広がるこの土地が、好きだ。

ドリンク代だけでおもてなしあふれるモーニングが、好きだ。

日本中に誇れる七夕祭りも、ツインアーチ 1 3 8 も、真清田神社もそのすべてが、私たちは好きなんだ。

「飛び抜けた 1 番」はないかもしれない。

でも、それでいい。それでも「あなたにとって 1 番の場所」に。

一宮市は、1 0 0 周年。

これまで以上に市民のみなさまに愛される市をめざし、魅力を高めつづけていくことを、ここに誓います。

3. 決定までの経緯

- ・キャッチフレーズ制作にあたり 2 回のワークショップを開催した。
- ・今一宮で暮らす人々の思いから原案を作成し、市制 100 周年記念事業準備委員会、専門委員会の意見を踏まえ決定した。

4. キャッチフレーズ制作委員

- ・原 央海(はら おうみ) 30 歳
- ・コピーライター、CMプランナー
- ・一宮市出身、現在は東京都在住(高校まで、両親は一宮市在住)
- ・アドバイザーとしてワークショップに参加していただいたほか、決定したキャッチフレーズに対するボディコピーの作成についてアドバイスをいただいた。

5. ワークショップ

- ・「100 周年のキャッチフレーズを考えないと！」を 2 回開催(7 月 24 日・31 日)
- ・下は高校生から上は 7 0 歳代までの、延べ 8 4 名が、「昔の一宮市」「現在の一宮市」「未来の一宮市」について話し合っていたら、それぞれの思いのこもったフレーズを出し合った。